

(お知らせ)

西陣を中心とした地域の活性化を目指し
路地の魅力を発信！

温故**創**新・西陣

令和2年3月10日
京都市総合企画局

プロジェクト推進室
プロジェクト推進第四担当
TEL 222-3992

「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」選考結果について

京都市では、「西陣を中心とした地域活性化ビジョン～温故創新・西陣～」推進の一環として、「路地から始める西陣暮らし」プロジェクトを展開しており、「特定非営利活動法人アニュアル ギャラリーANEWAL Gallery」が「京町家・路地の魅力を活かしたまちづくり」等に取り組んでいます。

この度、プロジェクトの取組の一つとして実施している「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」について、3月9日（月）に開催した最終選考会において最優秀作品等を選定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 コンペの趣旨・選考の経過

本コンペは、西陣に数多く残る路地のクリエイティブなイメージを発信し、住まいや創作環境として西陣の路地に注目を集め、今後、西陣地域の活性化の担い手となり得る若手クリエイター等を地域に呼び込むことを目指して実施しています。

海外を含む全国から応募いただいた75点の「路地の家具」デザインについて、昨年秋に第一次選考（作品パネルによる審査）を行い、一般投票会の最多得票の作品と、審査員の審査による上位3作品を合わせた、合計4作品を最終選考の対象としました。そして3月9日（月）に開催した最終選考会において、応募者が制作した実物を、プレゼンテーションを踏まえて審査し、最優秀賞を決定しました。

2 選考結果

(1) 最優秀賞

「Extension Furniture -路地のための増築家具」

(Soi 井上 湖奈美さん（東京都在住）)

【作品の概要】 増築するように建築に附属させることで、新たな交流を促進する路地の家具。縁側ベンチ、屋台、園芸ラックとして使うことが可能で、路地に暮らす人々の活動を路地に拡張させる。

(2) 優秀賞

「DANDANYARAI (だんだん矢来)」

(京都美術工芸大学 工芸学部 青木 遥さん (京都府在住))

【作品の概要】 路地の多様な利用のされ方に着目した、犬矢来を模した家具で、時々のニーズに応じて、椅子、ディスプレイ、ごみ箱設置場所など、その機能を変えていくことができる。

「逆叉-sakamata-」

(信州大学 総合理工学研究科 上田 春彦さん (長野県在住))

【作品の概要】 組み合わせることで、椅子や柵、道標など多様な使い方ができ、路地の性格に合わせた場をつくることのできる家具。地域内各所に置くことで路地のネットワーク形成も図る。

「路地の置縁」

(愛知淑徳大学 久保井 聡さん (愛知県在住))

【作品の概要】 移動可能な縁側で、交流が生まれる路地空間の特性をさらに増強する家具。縁側の上部にはその場に応じて背もたれやテーブル、サインボードなど、必要な機能を付加できる。

(3) 佳作

「FLAGS CHAIR」

(建築設計士 大塚 悠太さん (東京都在住))

「街の音を紡ぎ出す 路地のサウンドスケープ」

(東京大学大学院工学系研究科 大場 卓さん (東京都在住))

「通い箱とクッション」

(アーティスト/大学勤務 小林 賢一さん (京都府在住))

「黄昏時-光と陰の行灯-」

(近藤 優衣さん (千葉県在住))

「一体化」

(青山製図専門学校 清水 里佳さん (神奈川県在住))

「かんざし」

(照沼 基さん (神奈川県在住))

「路地を守る燈」

(青山製図専門学校 福岡 大輝さん (埼玉県在住))

「ひとよらい」

(芝浦工業大学大学院 南出 真吾さん (東京都在住))

「漏れる光」

(青山製図専門学校 八木田 楓雅さん (神奈川県在住))

(参考 賞)

最優秀賞 《1点》 賞金10万円, 賞状, 本市イベント等での展示

優秀賞 《3点》 記念品, 賞状, 本市イベント等での展示

佳作 《9点》 賞状

3 その他

最終選考会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、開催場所を多くの人が行き来する上京区役所1階ロビーから4階大会議室に変更するとともに、アルコール消毒、マスク着用などの対策を取った上で、関係者のみで開催しました。

◆「路地の家具」とは・・・

伝統的なものとしては、町家の軒先に置かれる「床几」や「ばったり床几」と呼ばれるものがあります。人々が腰掛けて、夕涼みをしたり、世間話をしたりと、心和むようなコミュニケーションの場となっていました。



町家に設置されているばったり床几

◆「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト

西陣を中心とした地域に今も数多く残る路地を、ポジティブな観点で再評価し、活用することにより、この地域の活性化につなげることを目的とするプロジェクト。

路地は、通路が狭いことから、防災上の問題や、家屋の再建築が困難であるなどの課題がある一方、車が入れないことから安全性が高く、家賃も比較的安価であるなどの魅力もあります。

こうした路地の特性を踏まえ、路地を活用したイベントの実施や、その魅力の発信等により、子育て世代や若手クリエイター等の路地への移住促進を図るとともに、この地域に息づいてきた暮らしの文化の継承と、路地を核とした創造的環境の整備等に取り組んでいきます。



◆最終選考会

日時 令和2年3月9日（月）10時～12時

場所 上京区総合庁舎

内容 応募者によるプレゼンテーション

審査員による審査

審査結果発表及び表彰式

審査員

高田 光雄（京都美術工芸大学工芸学部教授）

奈良 磐雄（公益社団法人京都デザイン協会代表理事，
特定非営利活動法人京都西陣町家スタジオ代表理事）

水野 歌夕（写真家，町家写真館館長）

山本麻友美（京都芸術センター チーフプログラムディレクター）

吉田 創一（株式会社フラットエージェンシー代表取締役）

◆「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」公式サイト

URL <https://kagu2019.roji-cul.net/>